

宮崎安右衛門 （宮崎安右衛門） 隨筆家。明治二十一年二月、千石福井縣生れ、

昭和二十八年一月十六日歿（八六—九三）。號一白菴、童安。

著書『野聖之食桃水』（改訂第一版・大正十年二月十五日社翁全集刊

行會）、『野聖桃水』（海水「桃水和尚傳贊」桃水和尚の關於考察）（大正十年四月五日

京都・丁字屋書店）、『永遠の幼児（野の詞と蜜蜂の生活）』（大正

十年十月八日春秋社）、『聖心—キリストの貧しきに従ふ』（大正十

一年十二月二十四日惣文館）、自敘傳『聖蹟』（大正十二年五月二十

日春秋社）、『神と眞理への開眼』（大正十二年十一月一日畿部田陽

堂）、隨筆『草の酔ひ者』（昭和五年二月八日大同館書店）、『貧者

道』（昭和八年十月二十日春秋社）、『無身の生活』（昭和十年四月

一日一知書房）、『善人々』（昭和十六年十月二十五日京都・丁字

屋書店）、『野聖之食桃水』（昭和十七年九月二十日南北書園）、『シシ

聖者聖フランシス』（昭和二十一年十一月十八日南北書園）、『無の

哲學』（昭和二十二年八月十日川津書店）、『野聖之食桃水』（附録・

ヤシシの聖者聖フランシス）』（昭和二十二年十二月二十日川津書

店）、『キリストの福音』（昭和

二十二年四月二十日川津書店）、

『元食桃水』（昭和二十七年二月

一日東成出版社）、『金原明善』

（昭和二十一年九月二十日大法輪

閣）、『大馬渡道』（昭和二十六年

年七月十九日東海出版社）等。

